



《人事からのメッセージ》

あなたが
奈良機械製作所の社長を
評価してください。

企業経営の巧拙は、規模の大小にかかわらず経営トップの力量によるところがますます大きくなってきました。

スピードやコンプライアンスといったマネジメント力は当然のこととして、ビジョンの提示や説明力といったトップならではの情報発信力が、会社の発展を左右するといっても過言ではありません。

また、会社の雰囲気といった働くうえで最も気になる点も、確かに入社してみないと本当のところはわかりませんが、トップの言葉からある程度のことは推測が可能でしょう。

当社社長は必ずあなたと正面から向き合います。まずはこのメッセージをご覧ください。

当社は、就職・採用とはあなたと会社がお互いにお互いを確認しあう共同作業だと考えます。あなたの感性で社長を評価してみてください。

変わらないもの、開拓精神。

*President's
message*



代表取締役

奈良 自起

Y o r i o k i N a r a

“感動”できる心を持つ、それが次なる製品を生み出す原動力となる。

関東大震災翌年の1924年に創業した奈良機械製作所(旧奈良商店)は、「オンリーワン製品」の追求にこだわり、製品開発にまい進してきた。

奈良機械製作所の歴史とは。そして求める人材像とは。

社長・奈良自起が語る、奈良機械製作所のこれから、そして人材について――

“粉のスペシャリスト”への序曲

「食品調味料、化粧品、医薬品、コピートナー…。これらの分野に粉体を使用されていることは、多くの方がイメージできると思います。しかし、衣類に使用されている繊維などの化学製品も、もともとは粉体な

んです。つまり潜在的には実に多くのものがその製造過程で“粉”あるいは“粒”という形状を経ています」。奈良機械製作所の前身となる奈良商店は当初、機械工具の製作と販売を手がけていた。粉粒体処理技術を社業の舞台にしたのは、創業

からわずか1年後、お客様から食糧の粉碎機の将来性を説かれたのがきっかけだ。当時は食糧事情が芳しくない時代で、イモの蔓や葉を乾燥して、すりつぶして食べていたという。このような食糧事情の中、しかも、粉が水車小屋の石臼で引かれて

いた時代に、近代工場で使用可能な「高速衝撃式粉碎機」を完成させたのだ。第1号機を原型に改良を重ねた粉碎機は、現在まで続くロングセラー商品だ。

独自の視点からニーズを発見 開発型企業の土壌が完成

創業2年目から、粉粒処理一筋の社歴を築き上げることとなる奈良機械製作所。第二次世界大戦後には石油化学製品が主要な産業となるにつれて、新たな開発に乗り出した。「プラスチックを作る工程で粉を乾かす乾燥機にかなりの潜在的需要があることに気がついたんです。最初はやはり苦難、茨の道でした。何回もの失敗を経ても諦めず、独自の工夫を加え瞬間乾燥装置や回分式流動層乾燥機の開発にこぎつけたのです。先輩方の努力もあり、トップシェアまで昇りつめることができました」。こうした結果から、大型乾燥機のプラントの受注や海外への技術提供にもつながり、粉粒体技術の分野にまた新しい1ページが刻まれたのだ。

潜在的な可能性は無限にある 創業者のDNAは今も生き続ける

現在、粉粒体技術はナノ(10億分の1m)のレベルまで領域を広げている。「鉄をいくら熱しても燃えることは決してありません。しかし、ナノ単位まで分解すると激しく燃えあがります。モノというのは、ある程度の限界を超えて微小化すると全く別の顔を現してくるんですね。例えば医療の世界。ナノで表す大きさの薬を精製すると本来持っている機能が活性化することがあります。今まで100という数の粉を服用しないと効果がなかった薬でも、1という数だけ服用すればいい。残りの99が無駄になってくるわけです。薬というのは単価がとても高い。さらに副作用も怖いですね。そういう発想を実現するためには数ナノ、数百ナノの粒をどう制御していくかがカギを握っているのです」。さらに奈良は続ける。「弊社の技術は基本的にすべてオリジナルです。つまり遠慮なく私たちの技術を世界中に広げられるわけです」。

完全自前主義を貫きながら“オンリーワン製品”を追求する限り、無限の可能性を秘めているというわけだ。

感動を共有できること 自己実現の意志を持った人材に無限の可能性を

変わらないもの、開拓精神。粉粒体処理技術の発展に情熱を注いできた奈良機械製作所。創業当時から技術・精神は現在も受け継がれている。会社を「永遠の命」と語る奈良の考える人材像とは何なのか。「物事に素直に嬉しい、楽しいといった感情を表してほしい。感動、感銘それから、相手の熱意、誠意、愛情などを素直に感じることでできる学生の皆さんをお待ちしています。“感動”という感情は必ず何かを産み出すはず。感動から何かしらのアクションを起こす。それがどういう風に社会に貢献するのかと考えてくれればいいですね。ビジネスとしてどうかは後から考えてくれればいい。感動できなければ、新たなビジネスチャンス、新しい芽に気づかず、通り過ぎてしまいます。ぜひ創業当時から続く開拓精神というDNAを継承してほしいですね」。

世界にはばたく、“粉のスペシャリスト”として。

Yorioki Nara



粉体表面改質装置 ハイブリダイゼーションシステムとは？

UVケア化粧品は、いまや年間を通じた女性の必須アイテムの1つ。UVカット効果を持つファンデーション誕生のきっかけとなっ

たのが「ハイブリダイゼーションシステム」だ。約20年前に開発したもので、2種類以上の微粒子を複合化するなどして新素材を作り出す装置である。UVカット・ファンデーションには、紫外線吸

収能力の高い二酸化チタンが配合されている。しかし、粒径が0.1ミクロン前後の二酸化チタンは、単独では役に立たない。そのままでは毛穴(0.2~0.5ミクロン)に入り込んでしまうため、肝心のUVカット効果が期待できないうえ、使用後のクレンジングも大変だ。ところがハイブリダイゼーションシステムを使用して、10ミクロン程度の核粒子(ナイロン)に、二酸化チタンをコーティングする。その結果、UVカット効果を失わずクレンジングの楽なファンデーションが生まれ、世の女性に親しまれる商品となった。

Episode

ハイブリダイゼーションシステム開発秘話

「最初はビジネスになるなんて全く思っていませんでした」。そう当時を振り返る奈良。「ある大学の先生から奈良機械で私の夢を実現してくれないかと言われたんですね。例えば、雪の結晶、蝶の鱗粉、花の花粉など1粒1粒を顕微鏡で観察してみるとまったく違う。ミクロの世界でモノを捉えると、神の手によって作られたような美しさがある。こんなに綺麗な粒子が自然界にはたくさんあるのだから人間がこのような粒子を作れないわけがない、と何時間も熱弁を奮われたんです」。最初は何となく聞いていただけの奈良は徐々に彼のエネルギ

ーを感じ、共感し、夢の実現への一歩を踏み出すこととなる。「まずは単純化されたモデルから取り組みました。1つの核となる粒子(母粒子)の周りに小さな粒子(子粒子)をつけていくといった作業です。動き出した当初は途方もないプロジェクトだと皆が確信していた矢先、何と一発で成功してしまったのです。化学の世界では、本当に信じられないことですね」。それから研究開発を重ね、食品調味料、化粧品、医薬品、コピートナーなど、現在までさまざまな商品を世に送り出すこととなる。



<http://www.nara-m.co.jp>

〒143-0002 東京都大田区城南島2-5-7 TEL.03-3790-8011

粉体処理という分野で、
弊社に出来ることがたくさんあります。
弊社にしか出来ないこともたくさんあります。
一方で、弊社ができていない課題、
やりたい課題は無限と言ってよいほどあります。
これらを一つ一つ解決していけば、
間違いなく人間の生活が豊かになります。

これが私の夢です。
この夢を実現するには、
私以上に熱い思いのある人間がどうしても必要です。

奈良機械製作所には90年を超える歴史があります。
しかしながら、新しい課題がある限り、
常にスタート台に立ち続けていきます。

夢の実現に向け、
一緒にスタート台に立ってくれる人を探しています。